

2020

11

November

No.220

JA とまこまい広域

新米販売

SANSAN
光り輝く

新米販売(Aコープ厚真店)



特集 JAとまこまい広域産の新米販売開始
各関連機関へ新米贈呈行う

JAとまこまい広域広報誌
燐々～光り輝く～
No.220



■編集・発行

〒050-0160 3
JAとまこまい広域本所
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2
TEL 0145-277-2241 FAX 0145-277-3941

令和2年11月10日
ホームページアドレス <http://www.ja-tomakomakouiki.com>
メールアドレス info@ja-tomakomakouiki.com

印刷 ■ 株式会社 須田製版

JAバンク * 令和2年12月1日㈭～
令和3年1月29日㈮

冬の貯金

キャンペーン 2020

定期貯金

通常店頭金利
(1年 単利型・自動継続)

キャンペーン 対象者の中から
抽選で 30名様に
(令和3年4月抽選・5月配送)

水室メークイン 5kg
プレゼント!

JAとまこまい広域

ホームページ <http://www.ja-tomakomakouiki.com/>

苦小牧支所 ☎0144-72-6888 早来支所 ☎0145-22-2525
厚真支所 ☎0145-27-2241 追分支所 ☎0145-25-2525
白老支所 ☎0144-82-2266 穂別支所 ☎0145-45-2211

JJAとまこまい広域～新米販売までの道のり～



新米を購入するには

ノーザンホースパークをはじめ、太平洋フェリーの船内レストランや近隣市町村の飲食店へ数多く提供しているほか、苫小牧のホクレンショッピングモールでも販売される。また、「ふるさと納税の返礼品として安平町では「たんとうまい(胆東米)」、厚真町では「さくら米」、むかわ町では「雪瑞穂」をそれぞれの自治体において提供している。また当JAの「一oplやネットショッピングでは3ブランドの他に、ゆめぴりか等の「JAとまこまい産」のお米が取り扱われている。道外販売先は、神奈川県内でスーパーマーケットチェーンを展開する株式会社関東圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)に出店している株式会社やの店頭でも販売されている。

新規販売までの流れ
（生産者から受入から施設内での調製、販売までの流れ）

「昨年発生した「胆振東部地震」から2年が経過し、農地災害復旧（厚真町・安平町の数値のみ）、災害復旧工事面積136.44haに対して136.13haが復旧作業を終えほぼ復旧完了。JA施設関係、各種修繕建設を各種事業、募金等を活用し令和3年2月には全ての修繕・建設が終了する見込みとなっており、緊急を要する農地や施設整備については、概ね復旧作業は大詰めを迎えていく。



A photograph showing four men in dark suits and ties standing behind a wooden table. Each man is holding a white certificate with a red seal. On the table in front of them are four large bags of rice, each featuring a red and gold design. The background includes a colorful map on the wall and a framed picture.

Digitized by srujanika@gmail.com

まちなか訪問「雪瑞瑞穗」瞻呈



竹内町長との懇談



▲むかわ町(左から)竹内町長、宮田組合長、薩岡地区担当理事)

むかわ町訪問「雪瑞穂」贈呈



・竹内町長との懇談



▲むかわ町(左から)竹内町長、宮田組合長、薩岡地区担当理事)

新米販売開始



新光路書初日(八月二日販賣店)



▶ 新米夫田いさみ△消費者

役場を訪問し、「秀明厚真町教育学生へ振舞われた米は当JA産を堀専務は、今後各事業による支えた」と謝辞を述べ美しかった」と

厚真町へ贈呈

7日、堀専務をはじめ当JAの斎藤義幸厚真地区担当理事らが厚真町役場を訪問し、「さくら米」(厚真産ななつぼし)を宮坂尚市朗町長と遠藤秀明厚真町教育長へ届けた。届けられた「さくら米」は学校給食を通して学生へ振舞われる予定だ。厚真町の保育園から高校の給食で提供される米は当JA産を使用しており、地産地消の取り組みも行っている。

堀専務は、今年は豊作と報告した他「町による用水や不陸整備などの各事業による支援のおかげで、このような出来秋を迎えることができました」と謝辞を述べた。また、宮坂尚市朗町長は「今年の新米は例年以上に美味しかった」と述べ、「嗜好品等は我慢することができるが、食を我慢することはできない」と食糧の大切さを話した。

むかわ町へ贈呈

9日、宮田組合長をはじめ当JAの藤岡健人穂別地区担当理事らがむかわ町役場を訪問し、「雪瑞穂」(穂別産ななつぼし)を竹中喜之町長へ届けた。

宮田組合長は「今年も新米販売となりましたので、食べて頂ければ」と挨拶し新米を贈呈した。また「むかわ町より支援頂いたおかげで建設まで漕ぎ切ること」ができた穂別支所の多目的倉庫も12月によつやく完成の目処が立ちました」と支援へのお礼と合わせて完成予定の報告をした。また、竹中喜之町長は「米の検査にも立ち会わせて頂いた際に、今年のお米は例年以上に期待できる出来と聞いていたので待ち遠しかった」と述べた。

作況概要及び震災復旧の進捗状況

北海道農政事務所による9月15日現在の作況概要では、6月中旬から下旬にかけて日照不足で経過したが、7月上旬から中旬にかけて好天に恵まれてござり、「惠まれて育つ」吉兆によつた。まことに3月二回のJAとましまい広域は10月7日と9日の2日に分けて、当JAで生産されている主力品種ななつぼしを使用した3つの「ブランド、東胆振産」たんどうまい(胆東米)、厚真産「さくら米」(穂別産雪瑞穂)の新米贈呈を行つた。当JA管内の1市4町の市町行政をはじめ教育機関、消費者協会など37力所の各関係機関へ総重量約600kgを届けた。

作況概要及び震災復旧の進捗状況

厚真町へ贈呈

7日、堀専務をはじめ当JAの斎藤義幸厚真地区担当理事らが厚真町役場を訪問し、「さくら米」(厚真産ななつぼし)を宮坂尚市朗町長と遠藤秀明厚真町教育長へ届けた。届けられた「さくら米」は学校給食を通して学生へ振舞われる予定だ。厚真町の保育園から高校の給食で提供される米は当JA産を使用しており、地産地消の取り組みも行っている。

堀専務は、今年は豊作と報告した他「町による用水や不陸整備などの各事業による支援のおかげで、このような出来秋を迎えることができました」と謝辞を述べた。また、宮坂尚市朗町長は「今年の新米は例年以上に美味しかった」と述べ、「嗜好品等は我慢することができるが、食を我慢することはできない」と食糧の大切さを話した。

むかわ町へ贈呈

9日、宮田組合長をはじめ当JAの藤岡健人穂別地区担当理事らがむかわ町役場を訪問し、「雪瑞穂」(穂別産ななつぼし)を竹中喜之町長へ届けた。

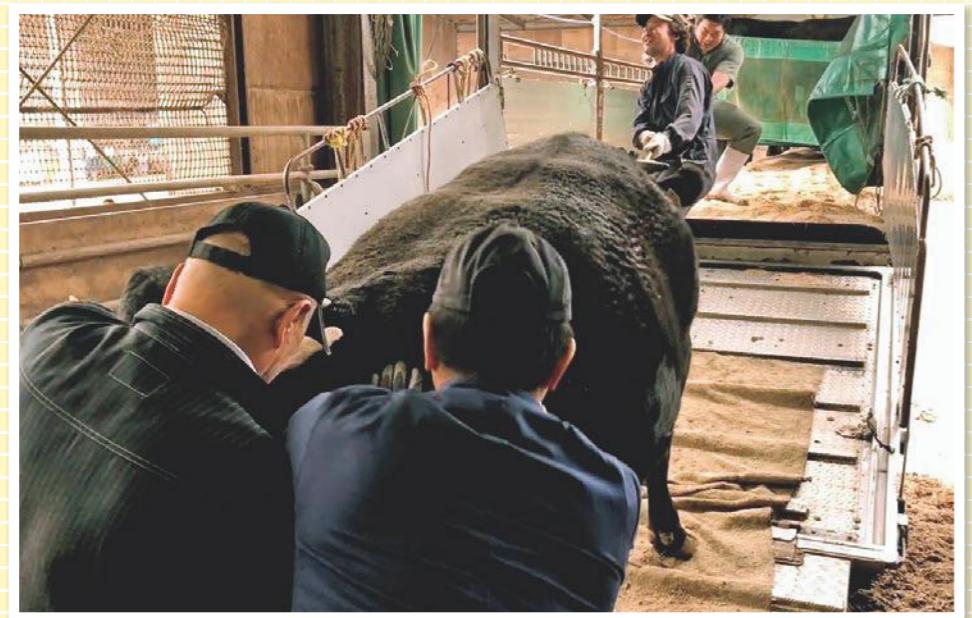
宮田組合長は「今年も新米販売となりましたので、食べて頂ければ」と挨拶し新米を贈呈した。また「むかわ町より支援頂いたおかげで建設まで漕ぎ切ること」ができた穂別支所の多目的倉庫も12月によつやく完成の目処が立ちました」と支援へのお礼と合わせて完成予定の報告をした。また、竹中喜之町長は「米の検査にも立ち会わせて頂いた際に、今年のお米は例年以上に期待できる出来と聞いていたので待ち遠しかった」と述べた。

作況概要及び震災復旧の進捗状況

北海道農政事務所による9月15日現在の作況概要では、6月中旬から下旬にかけて日照不足で経過したが、7月上旬から中旬にかけて好天に恵まれてござり、「惠まれて育つ」吉兆によつた。まことに3月二回引

JJAとまごまい広域産の新米販売開始
各関連機関へ新米贈呈を行う





▲出荷のためトラックへ移動させる様子

JJAとまこまい広域青年部白老支部は第69回全道青年部大会CMコンテストに出品する30秒のCM撮影に取り組んだ。このコンテストは農業関係者と消費者が共感を持てるような動画を作成・発信し、地域住民に地域の農業農村の果たす役割を理解・共感してもらうことをねらいとして毎年行われている。

今回の撮影を担当した青年部白老支部の石田拓矢さんは「命をメインテーマに白老町の特産品である和牛の生産から出荷、消費までの一連の流れを作品にした。畜産業は命の尊さを身近に感じる仕事であり、消費者の方々には我々がどういった想いで畜産業に携わっているのかを感じていただけたら嬉しい。使用した楽曲は作品イメージから自分で作曲したので、よりメッセージ性のある作品に仕上がったと思つ」と語った。

入賞作品は第69回全道青年部大会で放



▲新デザインでの選果作業



▲出荷待ちのアサヒメロン

追分アサヒメロン組合の安井貴志組合長は「先輩達が築き上げたデザインを変えることに不安はあったが、50年続いたデザインを変えることで追分アサヒメロン組合が一層発展し、100年先まで続いていくよう心機一転頑張っていきたい」と話した。

リニューアルされた箱で追分アサヒメロンが更に注目を集め、たくさんの方に味わっていただけることを期待したい。



白老

動画で発信！農の魅力コンテスト

命をテーマに、白老和牛の生産から出荷まで

▲応援職員によって、施設へ搬入された粉の識別コードを入力する様子

▲記帳作業



▲受け入れの順番待ちをするトラック

地域の話題を
パチリと

カメラレポート

広域

職員による繁忙期対応、職場応援開始

相互扶助の精神をここに

胆振管内のJJAとまこまい広域の「たんとうまい（胆東米）ステーション」（コンベーラー・エレベーター）では9月17日から粉の受け入れを開始した。1日における施設の処理能力（1日／300t）に順次受け入れた。多くの受け入れ数も限りがあるため、23日より地区ごとに受け入れ日程を定め出荷制限を設けながら順次受け入れした。多くの受け入れ数量が見込まれる9月23日から約1か月間、厚真町上野地区にある「たんとうまいステーション」等で受け入れ応援が本所・厚真支所の職員により行われた。コンプライアンス遵守の観点から当JJAにおいては、現在配属されている職場を3日以上離れなければならないと定められており。

厚真支所の職員により行われた。コンプライアンス遵守の観点から当JJAにおいては、現在配属されている職場を3日以上離れなければならないと定められており。JJAとまこまいステーションでの職場応援では、生産者がハードコンテナ等によつて持ち込んだ粉を施設へ搬入する際の手伝いが行われた。職場応援に駆け付けた職員は「農協内部で忙しい部署があれば助け合うことは非常に大事なことだと思う。協同組合が掲げる『相互扶助』の精神をこのようない形で表現できればとと思う」と話した。



▲受け入れの順番待ちをするトラック



追分

昨年組合創立50周年を迎えた心機一転100年先まで

アサヒメロン箱リニューアル



▲厚真町富野地区での収穫風景

追分アサヒメロン組合は、9月30日出荷・10月1日販売分よりメロンの箱をリニューアルした。赤を基調とした新しいデザインの箱は、共選場で一際目立つていた。同組合では、昨年創立50周年を迎えたのを機に、箱のデザインを一新することを決めた。



▲ライスセンターへの受入作業

広域

順調に刈取作業進む

大豆の収穫及び施設の受け入れ

JJAとまこまい広域では10月15日から大豆の受け入れが厚真町上野地区のライセンター（以下、施設）で開始した。初日は1件の生産者が施設へ持ち込み、約4tを受け入れた。受け入れした大豆の水分を測定し基準ごとに貯留庫に一時保管され、ロットが溜まり次第乾燥作業へ移行する。水分基準の15%以下まで乾燥した後、ふるい分けや比重選別、色彩選別を実施しフレコン又は紙袋に詰め

約4tを受け入れた。受け入れした大

豆の水分を測定し基準ごとに貯留庫に一

時保管され、ロットが溜まり次第乾燥作

業へ移行する。水分基準の15%以下まで

乾燥した後、ふるい分けや比重選別、色

彩選別を実施しフレコン又は紙袋に詰め

約4tを受け入れた。受け入れした大

豆の水分を測定し基準ごとに貯留庫に一

時保管され、ロットが溜まり次第乾燥作

業へ移行する。水分基準の15%以下まで

令和2年度 支所運営協議会意見集約・回答

白老

- Q1. 牛肉の消費拡大をお願い致したい。
A1. 南北海道市場内でのアピールも含め関係先に推進しています。
- Q2. 賦課金改定について、農協の自効努力は無いのか?
A2. WEB会議の利用、職場応援等でコストの削減や合理化に取り組んでいます。

苦小牧

- Q3. 組合員の減少等もあり、賦課金基準の見直しが必要なのは理解できます。
A3. 今後も組合員懇談会等で説明して参ります。
- Q4. 老朽化もあり苦小牧支所の移転について理解はできる。
A4. 令和4年度までに日胆農業会館への移転を検討しています。苦小牧支所周辺の利用者を中心と要望の把握に努めます。

早来

- Q5. 金融事業減収分の収支が合わない4,500万円をどのように補うのか。
A5. 賦課金の改定により15,000千円程、去年見直しさせて頂いた施設利用料で15,000千円程、後は事業全体の見直しを含めて金融事業の減収に対応してまいります。
- Q6. 農協全体の事業を見直し、5年後、10年後の農協の姿を示してほしい。
A6. 昨年、第1段階として乾燥調製施設の料金体系を見直しさせて頂きました。今後は、将来を見据えた運営を行つたためにも、職員の働き方、組合員の利用の仕方等の工夫の協議が必要で地区懇や総代会、支所運営協議会を皆さんのお見を求める場として有効に活用しながら進めたいと思っています。
- Q7. ワンフロア化も、何年か前の施設課のよろな絵に描いた餅にならないよう状況を整理した上で取組んでほしい。
A7. 事務所や構内の活用などはこれから時間をかけて支所運営協議会、地区懇談会で意見を伺いながら再検討したいと思っています。
- Q8. 農事組合員は営農されていない方がいるのが現状。他地区的状況等も鑑みながら話合いをする場が必要。
A8. 農事組合員は地区によって使い方がバラバラ。それぞれの組合の話

農協法公布記念日にあたって ～令和2年11月19日

一昨年9月6日発生の胆振東部地震から2年が経ちました。改めて尊い命を奪われた方々へのご冥福をお祈り申し上げます。被災され、復旧、復興に日夜ご尽力されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布され、73年目を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の実現をめざし、総合事業を展開しながら今日に至っております。

今年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、「アグリアクションホッカイドウ」と題した取り組みをJAグループ北海道が一丸となって行っています。また道民550万人サポーターづくり運動を継続して展開しております。当JAでも中学生高校生のインセンティブの受入、准組合員農業体験や交流会、小学生サッカー大会の後援、地域イベントの主催共催、JA事業の利用推進、青年部、女性部が子供たちへの農業体験や学習活動の展開を通じて協同組合の輪を広めております。胆振



とまこまい広域農業協同組合
代表理事組合長 宮田 広幸

東部地震のおりには組合員・近隣のJA、各連合会、関係機関のご協力を頂き、協同組合の連帯力を再確認いたしました。

新型コロナウイルスからの脱却、被災からの復興、組合員の減少、国際貿易交渉などこの難局を乗り切り、新自由主義経済への対立軸としても組合員、役職員が一丸となり、農協法の目的を再確認し、充実した組織として発展するよう共に頑張りましょう。地域農業発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。



※Qは意見・要望 Aは回答

- Q14. 支所再編について
A14. 今後も組合員減少と情報機器の能力が発展することが見込まれる中、現行の拠点を守りながらそれぞれの機能を再編し合理化を目指します。内容については都度相談させて頂きます。
- Q15. 賦課金の上限設定に変更はあるのか。
A15. 現状の上限40万円の設定変更是考えておりません。
- Q16. 組合員数の減少による作付面積の減少は起きていないのか。
A16. 現在は既存の組合員の方が賃貸等で面積を拡大しており、作付面積の減少はないと考えております。
- Q17. 本所にある震災により中央会救援募金を活用したハウス倉庫の利用はどのようなものを作成しているのか。
A17. 被災された厚真北部地区にそれぞれ設置いたしましたので、他の地区の農業用機械やJA機材の仮保管を対象としています。
- Q18. 地区の農業用機械やJA機材の仮保管をしております。
A18. 各振興会で協議を進めてもらい今後の対応を図りたいと思います。
- Q19. そ菜担当職員の人事異動期間をもう少し長くしてもらえないだろうか。出荷先の市場担当者と連携がとれなく販売が不利になります。
- Q20. 新規就農者の受け入れ実績は。
A19. 金融、共済担当は5年ルールがありますが、異動のサイクルを長期化の方向で対応しております。
- Q21. 穂別地区は冬の農作物が少ないが、どのように受け入れるのか。
A21. むかわ地区に9件が就農しているが、過去に4~5件ほどが就農を断念しています。

穂別

- Q8. 農事組合員は営農されていない方がいるのが現状。他地区的状況等も鑑みながら話合いをする場が必要。
A8. 農事組合員は地区によって使い方がバラバラ。それぞれの組合の話

- Q9. 厚真追分に施設集約を考えているのにどうして大豆倉庫を建てるのか。
A9. 農協全体の施設は遠浅の乾燥施設と追分、厚真の3カ所になりますが、長期的に増設・改修していくのは厚真と追分の施設で、遠浅の施設については現状維持をしていくという報告を理事会にもしています。施設は修理が出来る間は使用しますが維持費が高む様になった時には集約を考えねばなりません。

- Q10. 大豆倉庫を建てたからこれだ。との議論がないように将来に繋げたいと思います。10年先、20年先を見据えて考えておきますが年数が経てば倉庫事情も変わるので、その時々の状況を見直すながら対応していかたいと思います。
- Q11. 青年部はコロナがあつて全然集まれていない。総会以降、役員会で集まつただけでフレッシュマンでも顔合わせが出来ていません。この後も出来るかどうか解らない。
- Q12. 今年度はいつもと違うと思いますが、コロナ対策をしながら会員の交流を促進したい。
- Q13. 女性部も今年の活動はほぼ中止になつて力が入らない。毎回書いてますが、女性部の活動は家族の協力がないと動きが取れないので少しだけ家族の協力を考えていただければ嬉しいです。
- Q14. 活動のために家族の協力を得られるよう啓蒙していきます。

- Q15. 今年度は女性部も今年の活動はほぼ中止になつて力が入らない。毎回書いてますが、女性部の活動は家族の協力がないと動きが取れないので少しだけ家族の協力を得られるよう啓蒙していきます。
- Q16. 本所にある震災により中央会救援募金を活用したハウス倉庫の利用はどのようなものを作成しているのか。
A16. 現在は既存の組合員の方が賃貸等で面積を拡大しており、作付面積の減少はないと考えております。
- Q17. 本所にある震災により中央会救援募金を活用したハウス倉庫の利用はどのようなものを作成しているのか。
A17. 被災された厚真北部地区にそれぞれ設置いたしましたので、他の地区の農業用機械やJA機材の仮保管を対象としています。
- Q18. 地区の農業用機械やJA機材の仮保管をしております。
A18. 各振興会で協議を進めてもらい今後の対応を図りたいと思います。
- Q19. そ菜担当職員の人事異動期間をもう少し長くしてもらえないだろうか。出荷先の市場担当者と連携がとれなく販売が不利になります。
- Q20. 新規就農者の受け入れ実績は。
A19. 金融、共済担当は5年ルールがありますが、異動のサイクルを長期化の方向で対応しております。
- Q21. 穂別地区は冬の農作物が少ないが、どのように受け入れるのか。
A21. むかわ地区に9件が就農しているが、過去に4~5件ほどが就農を断念しています。

- Q22. 新規就農者の受け入れ実績は。
A22. 穂別地区は冬の農作物が少ないが、どのように受け入れるのか。
Q23. むかわ地区に9件が就農しているが、過去に4~5件ほどが就農を断念しています。



後継ぎ



ながはし たかのり
長橋 孝倫さん(26歳)
厚真町鯉沼

孝倫さんが出荷した素牛から良血統の種牛に

就農のきっかけ
孝倫さんは、父の義治さんと母のたか子さんの長男として厚真町で産声をあげ、現在も実家で両親と弟の正喜さん、叔父の清蔵さんの5人で暮らしている。厚真高校を卒業後、酪農学園大学に進学し畜産について知識を深め、平成29年に父の義治さんの後継ぎとして就農し4年目を迎える。

本年度の営農では、牧草地12ha、小豆4.5ha、水田4.2haを耕作している他、親牛25頭、子牛17頭を飼育し繁殖經營をメインに、父、母、叔父、孝倫さんの4人で営農している。(10月20日現在の飼育頭数)

将来に向けて・今後の目標
今後の目標はと問いかけると孝倫さんは「規模などの面では、現在の頭数での経営を継続していくことが現実的かな」といふ。「将来的には無理をせずに現状を見ながら規模拡大するのかの判断していく」と話してくれた。

就農のきっかけ
幼少の頃から実家の畜産農家を継ぐことを期待されているのを感じており、物心がつく頃には実家を継ぐことを意識し始めるようになつたという孝倫さん。高校卒業後は専門知識の習得と実践経験を積むために江別市にあ

多岐に亘る仕事
現在の主な作業は、給餌から牛舎掃除など和牛飼育するまでの作業は一通り任せられ仕事を励んでいる。「手塩にかけて飼育した和牛が市場において高値で競り落とされるのを見たときは、和牛飼育の他にも、小豆と水田を耕作しており手がかかる仕事は多岐に亘る。9月から10月と特に忙しく、「和牛飼育の他に、小豆と天気を見ながらの作業が多くなり天気を見ながらの作業が多く作業調整が難しい」と孝倫さんは話す。

る酪農学園大学への進学を決断する。大学では家畜人工授精師の国家資格を取得の他、様々な家畜の世話を幅広い学習に励んだ。現在は人工授精を精液取り扱いの関係上、自ら行わず獣医師に依頼しているが、将来何があつても良いように自ら人工授精を行うことを見込み取得したと話す。

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(10月)

令和2年10月8日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	41	645,341	1,140	1,916
	雌	26	548,885	1,059	1,713
苫小牧	去勢	7	603,571	1,111	1,861
	雌	2	497,500	1,045	1,582
早来	去勢	31	703,581	1,249	1,982
	雌	11	609,455	1,059	1,891
厚真	去勢	47	639,681	1,170	1,866
	雌	24	539,375	1,050	1,675
穂別	去勢	23	625,913	1,174	1,816
	雌	21	599,857	1,080	1,810
追分	去勢	8	712,750	1,254	2,118
	雌	2	575,000	1,046	1,855
とまこまい広域	去勢	157	653,873	1,179	1,908
	雌	86	565,837	1,061	1,749
胆振管内	去勢	245	650,686	1,160	1,923
	雌	130	558,177	1,046	1,746
市場計	去勢	993	647,977	1,150	1,935
	雌	654	551,479	1,016	1,771

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/11月～1月

令和2年10月23日 札幌管区気象台発表



気温予想

3カ月	低20%	並40%	高40%
11月	低20%	並40%	高40%
12月	低30%	並30%	高40%
1月	低20%	並40%	高40%

11月

- 北海道日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。北海道太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

12月

- 北海道日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。北海道太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。降水量は、北海道太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

1月

- 北海道日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。北海道太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

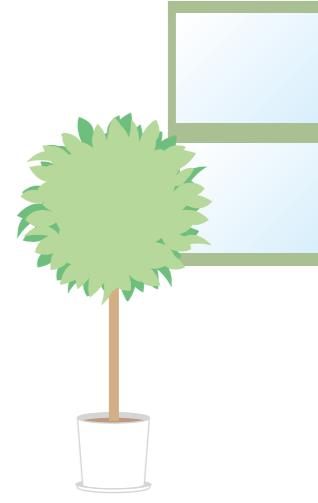
出典:http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/101_10.html
気象庁ホームページ/防災情報/季節予報/北海道地方3ヶ月予報より

理事会報告

令和2年10月13日(火)に総合営農センターで第10回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- 一般報告と当面する諸行事について
 - 8月末の財務報告について
 - 10月1日現在、農作物の作況について
 - 組合員の異動について
 - 固定資産の取得、処分について
 - 第2四半期定期監査・常勤監事随時監査の結果について
 - 反社会的勢力排除対応管理先の対応状況について
 - 枝肉共励会の結果報告並びに開催予定について
 - 役員組合員訪問の意見集約について
 - 支所運営協議会の開催報告について
 - 令和2年度北海道報徳[善行賞]受賞候補者の推薦について
- 推薦支所…追分支所
- 経営定期点検の結果について
 - 賦課金、料金・料率の改定原案について
 - 不祥事再発防止策の進捗状況について
 - 行動規範にかかる取組指標充足状況の確認結果について



- 新型コロナウイルス対策の概要について



- 議案第1号 追分支所給油所不祥事の行政報告(最終)及び不祥事再発防止策の策定について
- 議案第2号 人事考課規程の一部改正について
- 議案第3号 給与規程の一部改正について
- 議案第4号 理事会及び監事会開催、事務取扱要領の一部改正について



園芸作物を巡る スマート農業の 現状について

担い手不足や農業者の高齢化に伴い、省力化が必要な中、国ではロボット技術やICTなどの先端技術を農業に活用する「スマート農業」の実現に向けて取り組みが始まっています。北海道でも、2020年3月に「北海道スマート農業推進方針」を策定し、スマート農業の積極的な推進に向け、動き出しています。

○スマート農業技術の現状(主な技術と進捗)

	研究開発	実証	市販化	普及	主な取り組み
○施設環境計測・制御システム 【施設内の各種データを計測し、自動的に環境を制御】				→	○国内の複数の企業より、既に製品販売がなされており1,000件以上の導入実績がある製品も存在。
○運搬ロボット 【作業者を自動追尾し、重量物を運搬するロボット】				→	○国内複数の企業でプロトタイプが開発されており、農業者によるモニター利用が行われ、市販化への改良が進められている。 ○この他、自動収穫機に追従する搬出用無人運搬車も研究開発されている。
○収穫ロボット 【ロボットアームとカメラでの識別機能を搭載したロボット】				→	○国内企業を中心に、施設トマト等をターゲットに研究開発が進められている。 ○現在、大規模施設への導入を念頭に開発。

写真引用元: agrijournal.news.panasonic.com

スマート農業の将来像

- 省力化・大規模生産を実現
- 作物の能力を最大限に発揮
- きつい・危険作業の回避
- 取り組みやすい農業の実現
- 消費・実需者に安心・信頼を提供
- スマート農業の実現に向けた研究会「中間取りまとめ」より抜粋

施設園芸においてもスマート農業に関する取り組みがあり、厚真町の研修農場(トマト)にて「環境モニタリング機器(みどりクラウド)」を用いて、ハウス内の環境を測定し、管理作業に活かしています。



写真① みどりクラウド設置状況



写真② モニタリングしたデータ表示の例(一部抜粋)

測定項目

- 温度 ●湿度 ●飽差
- 二酸化炭素濃度
- 土壤含水率 ●日射量
- その他、製品仕様によってECや風速・風向等の測定も可。

活用方法(例)

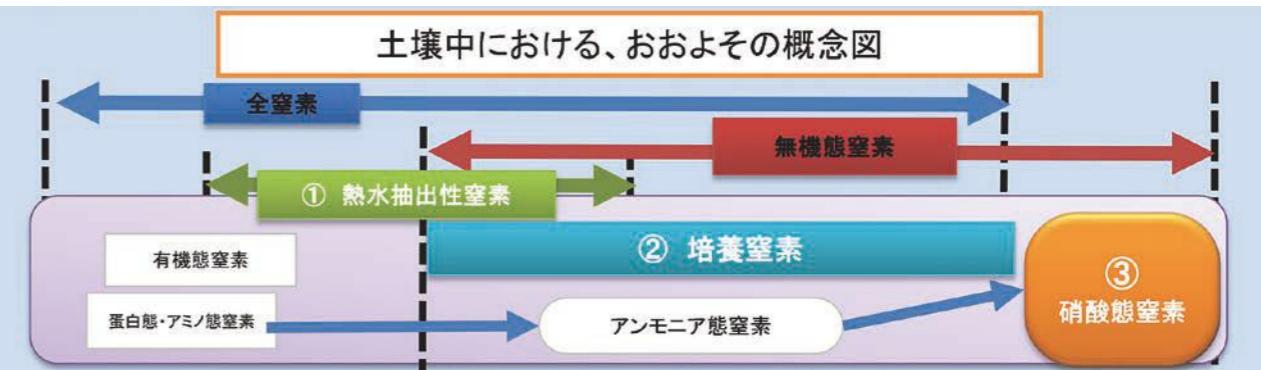
- スマートフォン等でいつでもハウス内の環境を把握できる。
- 具体的な数値を見た上で、ハウスの開閉やかん水等の管理作業を判断することが可能となる。
- 生産者同士や関係機関との測定データの共有が可能。

ワンポイント営農情報

土壤分析をしましょう!!

収穫後のは場は、土壤本来の成分が明確に確認出来る貴重なタイミングになります。今回は、窒素(N)の分析結果について、簡単に説明致します。

□窒素成分分析の热水抽出性窒素・培養窒素・硝酸態窒素について※1



※1…東胆振地区施肥ガイドブック-58p-参照。

□分析結果項目の用語

①热水抽出性窒素(熱N)…

露地栽培時に土壤から供給可能な窒素量の測定値。
数値が大きいほど、地温が上がってからの窒素供給量が増えるが、大きすぎると「後出来」しやすく、倒伏や高タンパクとなる危険性もあります。
主な対象作物…畑作根菜類、露地野菜・果樹

②培養窒素…

湛水状態で土壤から供給される窒素量の測定値。
数値が大きいほど、地温が上がってからの窒素供給量が増えるが、大きすぎると「後出来」しやすく、倒伏や高タンパクとなる危険性もあります。
主な対象作物…水稻

③硝酸態窒素(NN)…

土壤中の施肥窒素の残り具合を測定します。
数値が大きいほど、前作の窒素が残っている事を示します。同時に電気伝導度(EC)も高くなります。NNは一定濃度以上ないと、生育不良となり、高すぎると出芽・発根に障害をおこす。
主な対象作物…施設野菜・花卉

□分析結果からの施肥判定

熱Nの診断値と施肥水準区分(地域・土壤)に照らし合わせ、標準窒素施肥量から増減を判定。

土壤タイプ毎の窒素水準に合わせて、標準窒素施肥量から増減を判定。

作物に合わせた施肥基準で標準窒素施肥量の増減を判定。

まずは、土壤状態を理解し、土壤状態を基準値に矯正し、それから施肥設計を行いましょう。
施肥設計について詳しく知りたい方は、営農部営農課クリーン農業係まで

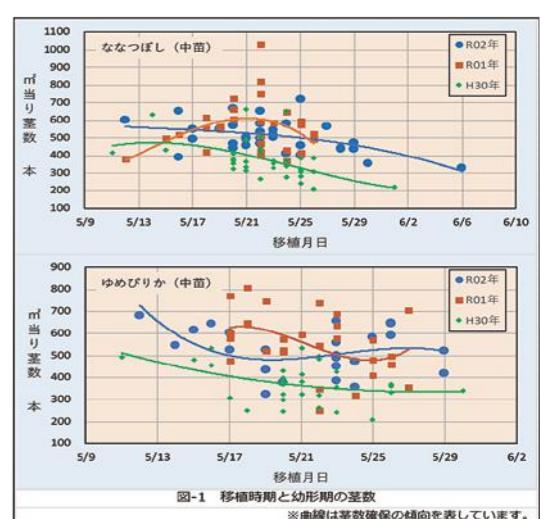
シリーズNO.12 令和2年米の生育の特徴

～移植時期と初期生育～

※JA全域幼形期・稔実調査より

本年は一時低温があつもの、移植後の生育は順調に経過しました。JA全域幼形期調査の「ななつぼし」「ゆめぴりか」の調査結果を見ると、m²当たり茎数は昨年比90~95%と少なめとなっています。しかし、ほ場や地域でのばらつきが少なく、昨年より遅った生育となっていました。

移植時期は、「ななつぼし」は昨年よりやや遅く、両品種とも移植期間がやや幅広くなっています。初期茎数を十分確保するには、「ななつぼし」は5月25日までの移植、「ゆめぴりか」は早期の移植が重要のようです。



JA北海道中央会



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。

本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越し頂いた道民の皆さんに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さんも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRIACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社:帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなつたことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発刊の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧いただきアンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

News & Topics from JA

JA日誌

2020 11月

16日(月) みのり監査法人 期中II監査～18日、厚真地区農業用廃プラ斎回収～17日、道南・日胆・後志・石狩地区JA理事研修(札幌)

17日(火) 北海道米協議会(札幌)

18日(水) 第3四半期事業ヒアリング～20日

19日(木) 農協法公布記念日訓辞

20日(金) 大卒新採用面接

21日(土)

22日(日)

23日(月)

24日(火) 第10回企画会議

25日(水) 第5回地区担当理事会議

26日(木) 第3回管理委員会、生産委員会

27日(金)

28日(土) 北海道枝肉共励会 黒毛和牛の部(十勝)

29日(日)

30日(月) 第11回理事会

2020 12月

1日(火) 内部監査【期中II】～4日(外部委託)
第2回営農支援協議会、異動辞令交付

2日(水)

3日(木) 肉牛市場、共済連運営委員会(札幌)

4日(金) 乳牛市場

5日(土)

6日(日)

7日(月) 第3回四半期定期監査～8日
常勤理事と広域青年部懇談会

8日(火) 常勤理事と監事の意見交換会

9日(水) 新任理事研修～11日(JAカレッジ)

10日(木)

11日(金)

12日(土)

13日(日)

14日(月)

15日(火) 穂別支所多目的農業倉庫2号棟竣工式

JA
からの
お知らせ

新採用職員紹介

11月2日付で新たな職員が加わりました。



①氏名 山田 真義(やまだ まさよし)
②配属先 経済部機械燃料課厚真農機車輛センター
③生年月日 昭和56年1月10日
④出身地 札幌市
⑤最終学歴 札幌工業高校
⑥趣味・特技 麻雀
⑦一言 記録と記憶に残る人材になりたいです。体は大きいですが気は小さいです。よろしくお願い致します。

【消費拡大対策第2弾】白老牛・農産物フェア開催のお知らせ

消費拡大対策として7月に苫小牧にてメロン市を開催いたしました。このたび第2弾として、白老牛・農産物フェアを開催いたします。

「白老牛」はもちろん、「白老産和牛ハンバーグ」など牛肉を使用した加工品のほか、「たんとうまい」や「おふくろみそ」、「ながいも」などの人気商品も販売します。

当日お越しの際は新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用など感染拡大防止にご協力をお願いいたします。



冬季組合員懇談会開催のお知らせ

令和2年度冬季組合員懇談会が、以下の日程で開催されます。JA決算見込みをはじめ、生産販売概要、生産資材情勢など、各種の意見交換を予定していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

本所・厚真支所 TEL 0145-27-2241 早来支所 TEL 0145-22-2525
白老支所 TEL 0144-82-2266 追分支所 TEL 0145-25-2525
苫小牧支所 TEL 0144-83-6888 穂別支所 TEL 0145-45-2211

支 所	開 催 日	開始時間	会 場
白 老	12月10日(木)	10:00～	蔵Eホール
		10:00～	苫小牧支所
早 来	12月11日(金)	13:30～	早来支所
		14:00～	追分支所
厚 真	12月11日(金)	13:30～	厚真会館
		18:30～	當農センター
穂 別		18:30～	町民センター(穂別支所)

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。



月 日	地 区	氏 名	享 年
10/6	厚真町	荒井 章一さん	80
10/8	むかわ町	池田 秀一さん	91
10/19	安平町	橋本 善吉さん	96

※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合がありますのでご了承下さい。